

040201ハイヤー・タクシー業における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2022	2	0 ～ 2	タクシー乗務員である被災者が、乗客なしで下り坂を走行中に中央分離帯に激突、その後ガードレールに再激突し死亡したものの。	231	17	30 ～ 49
2022	2	8 ～ 10	タクシー乗務員である被災者が、乗客を乗せてタクシーを発進させたところ、直後に雪でタクシーが埋まり、乗客や付近住民人と除雪作業を行っていたときに、突然あおむけに倒れ意識を失い死亡したものの。	921	90	100 ～ 299
2022	9	4 ～ 6	被災者が運転していたタクシーが道路左側の信号機の支柱に激突した。	231	17	10 ～ 29
2022	12	10 ～ 12	交差点手前100m付近で、被災者の運転するタクシー（空車）が直進中に、前方を走行中の路線バスに追突。タクシーを運転していた被災者が死亡したものの。	231	17	100 ～ 299
2021	1	8 ～ 10	被災者は、バスの運転手。被災日は朝の運行を終え、バスを駐車している車庫から、200m程度離れた事務所に帰社する途中、駐車場が凍結していたため転倒し頭蓋部を強打した。病院に入院し療養していたが、死亡。	417	2	1～ 9
2021	1	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。38度台の発熱があったが解熱したため1月20日まで勤務を継続。再度、発熱したためPCR検査を受検し陽性判定。自宅療養していたが、様態が急変し、搬送先の病院で死亡。社内で他に5名が陽性。うち1名が死亡。	911	90	30 ～ 49

2021	1	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。タクシー運転手として発症前14日間で177人を乗車させ、倦怠感が発症したが勤務を継続し、1月下旬に体調不良で早退後、救急搬送されPCR陽性となり治療を継続したものの数日後死亡。社内で他に5名が陽性。うち1名が死亡している（業務上外は現時点で不明）。	911	90	～ 49	30
2021	2	14 ～ 16	自社敷地内の樹木剪定作業を終えた後、剪定された樹木の残材の片付けを行っていたところ、床レベルに折りたたんで仮置していた脚立につまづいて転倒し、頭部を強打したものの。その後、病院にて診察を受け外傷部位の処置を行い、一度会社に戻ってから帰宅したが、帰宅途中の路上で倒れて死亡したものの。	417	2	～ 299	100
2021	3	18 ～ 20	タクシーが乗客送迎後に県道を回送中、カーブでセンターラインをオーバーし、対向車と衝突して負傷した。左急性硬膜下血腫により入院加療していたが、仙骨部褥瘡に由来する敗血症性ショックを発症し、死亡したものの。	231	17	～ 29	10
2021	4	10 ～ 12	新型コロナウイルス感染症による。被災者はタクシー乗務の勤務終了後に体調不良となり、診療機関でPCR検査を実施。検査の結果「陽性」と判断され、その後、保健所の指示により自宅待機を行っていた。その後、自宅待機中の数日間連絡が取れなかったため、同僚が自宅を訪れたところ、既に死亡していたものの。	911	90	～ 299	100
2021	4	4 ～ 6	新型コロナウイルス感染症による。38.7度の発熱が生じたため、翌日にPCR検査を受検したところ、陽性判定となり、ホテル療養を開始した。しかしながら39度の発熱が5日間続いたため、入院するも、死亡したものの。	911	90	～ 299	100
2021	5	18 ～ 20	新型コロナウイルス感染症による。隔日勤務の終了後、公休日に体調不良を訴え、翌日からの勤務を欠勤した。新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受け、入院加療していたが、死亡した。	911	90	～ 299	100
2021	5	10 ～	新型コロナウイルス感染症による。自宅にて高熱を発症し、PCR検査を受診したところ陽性判定となる。そのまま自宅療養となり、数日後に容体	911	90	～	100

		12	が悪化し、亡くなったもの。			299
2021	5	6 ～ 8	道路上で被災者が運転していたタクシーが低速走行中の貨物自動車の後部に衝突した。	231	17	50 ～ 99
2021	5	0 ～ 2	タクシー乗務員である被災者が新型コロナウイルス感染症を発症したものの。	911	90	30 ～ 49
2021	5	16 ～ 18	被災者はタクシー乗務員として勤務。発熱症状が認められ、PCR検査を実施、新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受けた。その後、新型コロナウイルス感染症による肺炎により死亡した。	911	90	500 ～ 999
2021	5	16 ～ 18	被災者は、タクシー乗務員で、不特定多数の乗客と接触し、業務では医療機関への送迎もあった。被災者は、業務上の交通事故により、医療機関を受診した。その際に、交通事故による外傷は打撲傷などであったが、外傷精査で肺炎の疑いがあり、PCR検査の結果、陽性が判明した。その後、被災者は、自宅療養した後、医療機関に入院し治療を継続していたが、死亡した。	911	90	50 ～ 99
2021	6	0 ～ 2	新型コロナウイルス感染症による。被災者はタクシー運転手であり、勤務終了後に帰宅したところ、37.7度の発熱があり、数日後に病院にてPCR検査を受け陽性反応が出た。民病院に入院したが、死亡したものである。	911	90	50 ～ 99
2021	6	22 ～ 24	国道の信号のない交差点において、第一当事者（被災者）が運転するタクシー車両が右折しようとした際、直進中の第二当事者が運転する普通乗用車と衝突した。被災者は、翌日死亡した。	231	17	30 ～ 49
2021	8	0 ～ 2	被災者はタクシー乗務員として勤務、発熱した数日後自宅で倒れ、翌日に救急車で病院に搬送され入院治療をしていたが、数日後、新型コロナ感染症により死亡したものの。	911	90	100 ～ 299
		12	タクシーの運転者である被災者は、乗客を降ろした後、トランク内を確認			50

2020	2	～	14	するため、降車して車の後方に回り込んだ時に倒れたもの。病院へ搬送され治療していたが、後日くも膜下出血により死亡した。	921	90	～	99
2020	4	～	12	新型コロナウイルス感染症により死亡したもの。	911	90	～	99
2020	9	～	16	被災者はタクシー運転手の業務に従事し、業務終了により帰社する途中、給油のためガソリンスタンドに立ち寄った際、停車しようとしたが急加速しガソリンスタンドから約100mほど進み、国道のコンクリート壁面に衝突。医療機関に救急搬送されるも大動脈損傷により死亡したもの。	231	17	～	99
2020	10	～	14	病院より当該事業場に連絡があり被災者と至急連絡を取りたいが電話がつかないとのこと。社員が自宅を訪問したが様子がおかしいため管理会社へ連絡して鍵を開けてもらい室内に入ったところ、被災者はすでに息を絶しておらず、救急車を手配したが死亡が確認された。病院は被災者が2日前の昼頃受診した結果を伝えようとしていた。	911	90	～	299
2019	3	～	12	高速道路下り線において、追い越し車線を走行していたタクシーが、本線に車線変更し、前方を走行していたトラックを追い抜き、再び追い越し車線に入った直後、スリップし、左側のガードレールに衝突。そのはずみで中央分離帯に衝突し、停車した後、後方を走行していたトラックがタクシーに追突した。タクシー運転手死亡、トラック運転手軽傷。	231	17	～	99
2019	3	～	20	事務所ビル本設外階段踊り場部で倒れている被災者を通行人が発見し、救急車で搬送されたが、翌日死亡したもの。	413	1	～	49
2019	4	～	12	被災者は、国道を走行中、追い越し車線をはみ出したため、対向車（大型トレーラー）と正面衝突した。	231	17	～	49
2019	5	～	22	市道上で、被災者が運転するタクシーが、信号待ちで停車していた大型トラックに追突した。被災者は、翌日搬送先の医療機関で死亡した。	231	17	～	49

2019	6	12 ～ 14	被災者は就業中に銀行に立ち寄った後、車両に戻る際に道路で転倒し、頭蓋骨を骨折したため、療養中であったところ、後日死亡した。	418	2	100 ～ 299
2019	7	22 ～ 24	被災者は乗客を降ろした後、道路を北から南方向へ走行中、信号のある交差点で、ハンドル操作を誤って中央分離帯に衝突したもの。	231	17	100 ～ 299
2019	8	2 ～ 4	タクシーに乗務し走行中、進行方向左側の歩道に乗り上げ、ガードパイプや電気ボックスに衝突したもの。	231	17	50 ～ 99
2019	11	12 ～ 14	被災者は電気工事を行っていた。当日は社員寮3室のエアコン交換中、2室目（5階）のベランダの約10m下の路上に倒れているのを発見された。一人作業で目撃者はいないが現場の状況から、壁のエアコンホースを通す穴（高さ約2m）のホース周囲のパテ埋め作業のため脚立に乗っていて、ベランダの手すり壁（高さ約1.4m）を越えて墜落と推測。	371	1	100 ～ 299
2019	12	18 ～ 20	被災者は片側4車線道路の一番左車線に運転していたハイヤーを停車させて車外後方にいたところ、後方から走行してきたバスに追突された。	231	17	300 ～ 499
2018	2	12 ～ 13	高速道路を走行していたところ、渋滞で停止していた車両に追突したものの。	231	17	100 ～ 299
2018	3	2 ～ 3	片側3車線の市道の信号機のある交差点で、進行方向を変えるためUターンを終えた被災者が運転するタクシーに乗用車が追突した。なお、事故後の検査で相手方の運転手の呼気から基準値を超えるアルコールが検出された。	231	17	50 ～ 99
2018	3	0 ～ 1	経理の仕事に従事し他の事務員が帰社した際は自席で一人残り業務を行っていたが翌日、事業場のトイレで脳出血により死亡している被災者が発見された。100時間超の時間外労働。	921	90	100 ～ 299

2018	7	20 ～ 21	被災者は、タクシーの運転手であり、夕方、乗客1人を乗せて、その後、豪雨で行方が分からなくなった。後日、遺体として発見された。	999	99	30 ～ 49
2018	9	0 ～ 1	被災者は高速道路で側面衝突を起こし停車させた。車外に出て発生場所を確認していたところ、後方から来た車両に接触した。	231	17	100 ～ 299
2018	10	2 ～ 3	タクシー運転手である被災者が、タクシーを県道走行中、町道を南から北に走っていた軽ワゴン車と信号機がある交差点で出会い頭に衝突し、タクシーは衝突の弾みで北東側の信号柱に激突した。病院に緊急搬送されたものの当日死亡が確認された。	231	17	30 ～ 49
2018	12	21 ～ 22	国道沿いにある飲食店の駐車場から下り三車線を横切って上り線に右折しようとしていたタクシーと、下り線を南進中の普通乗用車が衝突した。	231	17	10 ～ 29
2017	4	8 ～ 9	路上において、タクシーに客を乗せて目的地である同所に到着して料金精算をしようとしたところ、釣り銭が不足していたため、通りを横断して道路反対側の自動販売機へ行き、小銭を調達してタクシーへ戻るため、再び通りを横断しようとしたところ、南進の車両にはねられた。	231	17	10 ～ 29
2016	1	5 ～ 6	出社後被災者は、運行管理者による乗車前点呼と積雪に伴う路面凍結の注意を受けた後、4時58分に出庫した。5時15分頃、県道を走行中、前方の車両が左側路地に左折しようとしていたため、被災者は右側方より追い越そうとハンドルを切ったところ、凍結路面により車両が回転し、車道脇の街路樹に衝突した。これにより被災者は頭部を負傷し、搬送先の病院で死亡した。	231	17	30 ～ 49
2016	2	3 ～ 4	駐車場から何かぶつかったような音がしたので見に行くと、タクシーの右前のドア（内側）と駐車場の柱に挟まれている被災者を発見した。病院に搬送されるも、その後死亡が確認された。	231	7	50 ～ 99
2016	3	11 ～	県道交差点において、被災者はタクシーを運転し客を乗せて移動していたところ、ワゴン車と衝突し死亡した。また、タクシーの乗客とワゴン車の	231	17	30 ～

		12	運転手も被災した。			49
2016	3	1 ～ 2	空車状態のタクシーが交差点を直進したところ、左側から信号無視をして交差点に進入してきた自動車に衝突され、タクシーに乗務していた労働者が死亡した。	231	17	300 ～ 499
2016	4	21 ～ 22	業務終了のため、敷地内にある門形の洗車機でタクシーを洗車しようとした労働者がタクシーを洗車機の車止めまで前進させた後、ドアを開けてタクシーから降りようとしたところ、タクシーが動き出し、洗車機本体にドアが接触して閉じ、ドアと車体との間に首及び体をはさまれた。	231	7	30 ～ 49
2016	6	1 ～ 2	交差点で、被災者がタクシー乗務中、赤信号で停車していたが、青信号に変わったためタクシー車両をゆっくりと発進させ、交差点に進入したところ、右方から加害者が運転する乗用車が猛スピードで交差点に進入し、被災者が運転するタクシー車両に衝突した。	231	17	100 ～ 299
2016	12	19 ～ 20	タクシーが海に転落したもの。タクシー乗場から貨物船が停泊する岸壁まで乗客を運び、運賃精算後に車輛ごと海に転落。発生場所は、私設岸壁につながっている岸壁であり当時は雨が降っていた。タクシーの異変に気が付いた降車後の乗客が救急連絡した。	231	10	100 ～ 299
2015	9	21 ～ 22	タクシー運転業務中、事務所から無線で配車指示された場所で客を乗せ、客から指示のあった道の駅駐車場に到着したところ、客から「金を出せ」と言われたあと刃物で腹部等を刺された。被災者はタクシーの外へ逃げて倒れていたところを、客の運転する車に頭部をひかれ死亡した。客は道の駅駐車場に事前に自家用車を用意しており、犯行後自家用車で被災者の頭部をひいて逃走したものの。	999	99	10 ～ 29
2015	2	2 ～ 3	タクシー乗務中、乗客3名を乗せて、交差点を東進したところ、通を赤信号で北進してきた、大型バイクが運転席付近に激突した。大型バイクの運転者は、あばら骨骨折の重傷、乗客3名は軽傷（詳細不明）	231	17	30 ～ 49
2015	10	21 ～	被災者がタクシーにて乗客1名を乗せ、阪神高速松原線上りを走行中、文の里出口の左カーブの側壁に激突したものの。	231	17	100 ～

		22				299
2015	6	0 ～ 1	通を南方向に走行していたタクシーが、交差点において、何らかの原因により急発進し、東西方面の通の対向車側の歩道にある柵及び電柱に衝突し横転したものの。運転手は病院に運ばれたが死亡、乗客4人は軽傷。	921	90	～ 299
2015	6	1 ～ 2	客を乗せて道路を走行中、何らかの原因で交差点の中央分離帯に激突したものの。	231	17	～ 49
2015	2	15 ～ 16	役場から委託を受けたバスの運行業務から車両センターに戻った被災者は、脚立（最高高さ1.1m）を使用してバスの窓拭き作業を行っていた。脚立の踏ざん2段目（51cm）又は3段目（81cm）に乗って当該作業を行っていたところ、脚立から墜落したものの。頭蓋骨を骨折し、意識不明のまま病院で治療を受けていたが、2月24日午前9時30分に死亡した。なお、発生状況を目撃した者はいない。	371	1	1～ 9
2015	1	4 ～ 5	被災者は、タクシー運転業務に従事中、後部座席に乗客2名を乗せ、交差点に進入したところ、進行方向右側より走行してきた一般車両に、運転席側面から衝突され、横転したものの。被災者は、シートベルトを着用していた。また、災害発生場所の路面は乾燥状態であった。	231	17	～ 299
2015	2	12 ～ 13	平成27年2月10日12時25分頃、県道交差点から西へ約10mの地点において、東から西へ向かって走行していた被災者の運転するタクシーがセンターラインを越えて対向車線を走行中の乗用車に正面衝突し、被災者が胸部を強打する等して死亡したものの。	231	17	～ 99
2015	1	1 ～ 2	被災者がタクシーを運転して高速道路下り線を走行中、ジャンクション付近)で右側へ車線変更したところ、後方を走行していた2トントラックに追突された。追突されたタクシーはその後分岐点のガードレールへ衝突し、被災者は胸などを強く打ち、搬送先の病院で死亡した。	221	17	～ 99
2015	2	8 ～	被災者は、タクシー乗場で運転席に乗車し、客待ちしていたところ、脳出血を発症した。同僚が、車内で倒れている被災者を発見し、その後病院に搬送され、約4時間後に死亡したものの。発症する前の6か月平均で81時	921	90	～

	9	間42分の時間外労働を行い、発症日の労働時間は16時間55分であった。			99
2015	9	5 6 タクシー事務所に乗客が来たため、被災者が自分の車両を車道に出そうとしたところ、他の運転手の車両が事務所に戻ってきたので、その車両に乗客を乗せることになった。被災者は乗客にドアサービスをするため、急いで車両から出て乗客の所に向かったが、自分の車両が事務所敷地内から車道に向かってバック走行で動き出したため車を止めようと戻ったが、被災者の身体が運転席から出た状態で走行し、本社向かいの街路灯に激突した。	231	3	50 ～ 99
2015	12	7 8 被災者は、タクシーを運転中、丁字路の交差点でゴミ収集車と衝突して死亡した。	231	17	30 ～ 49
2015	3	18 19 道路に面した店舗の駐車場で客を乗せたタクシーが駐車場から道路に出ようとしたところ、道路を走行していた軽トラックと衝突し、タクシーを運転していた被災者が死亡したものの。	231	17	10 ～ 29
2014	1	19 20 タクシーを運転して市道を走行中、道路左側の電柱に衝突した。	231	17	30 ～ 49
2014	1	17 18 被災者は、顧客を乗せて運行業務中、意識を失い、車両3台による玉突き事故を起こした。意識を失った原因は大動脈解離。発症に至った背景として、直近で概ね80時間/月を超える時間外労働が認められた。	921	90	300 ～
2014	2	5 6 出庫するバスに乗車するため、社用車で公道を運転中、交差点を通過したところ、優先道路を直進していた大型トラックと出会い頭に衝突し、社用車が大破した。	231	17	50 ～ 99
2014	2	6 7 被災者は、出勤後タクシー置き場までバイクで移動中、道路上でバイクと接触した。被災者は、接触事故により道路上に散らばった資料等を拾っていたところ、バイクにはねられ、さらに後続の軽自動車にはねられ、死亡	231	17	30 ～ 49

			した。			
2014	3	0 ～ 1	被災者は、タクシーにて乗客を乗せ道路を走行中、道路敷地外にある駐車場のブロック塀に衝突した。	231	17	100 ～ 299
2014	4	17 ～ 18	宿泊先ホテルにて、背中に痛みを感じ、自ら救急車両を手配し、病院に搬送されたが、急性大動脈解離により死亡した。尚、直近1ヶ月で100時間を超える時間外労働が認められた。	921	90	50 ～ 99
2014	6	5 ～ 6	市道交差点にて、タクシーと横から来た乗用車が出会い頭に衝突。タクシーの運転をしていた被災者と乗客が頭を打ち、死亡した。	231	17	30 ～ 49
2014	9	3 ～ 4	タクシーから降りたところ、走行する大型スクーターに激突され、死亡した。	231	17	30 ～ 49
2013	10	14 ～ 15	業務で搭乗している3名を乗せたジャンボタクシーが走行中、料金所手前のガードレールに接触し車両が横転、大破し、運転手1名、搭乗者1名が死亡した。	231	17	10 ～ 29
2013	1	20 ～ 21	被災者（タクシーの運転手）は、乗客を降ろし、自社の車庫に帰る途中、交差点の信号柱に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2013	12	23 ～ 24	国道を速度50キロメートルで南方向に走行中、交差点の中央分離帯に設置してあるコンクリート製の防護壁に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2013	5	21 ～ 22	タクシーを運転していた被災者は、交差点において、タクシーの進路を西方向から北方向に変更したところ、西方向に直進していたトラックとタクシー右側が衝突した。	231	17	100 ～ 299
2013	3	2 ～	走行中のタクシーが、災害発生場所において北進中、歩道柵を突き破って道路西側の歩道に進入し、電話ボックスに激突したり、バス停の標識柱を	231	17	100 ～

		3	倒すなどして、歩道を約70メートル暴走して止まった。運転手は頭を強く打った。			299
2013	8	23 ～ 24	事業場の車両整備工場内において、深さ161センチメートルの車両整備ピット内に転落し、頭部を打撲して死亡した。	414	1	100 ～ 299
2013	12	3 ～ 4	タクシー運転手である被災者は、空車で走行中スリップを起こして左側ガードレールに衝突し、第二車線（三車線中の真ん中車線）で車両のフロントがセンターラインに向くような状態で停止した（単独事故）。被災者は、車内にて119番通報と会社へ事故報告を行っている際、個人タクシーが衝突し、更に中型貨物自動車も衝突した。その衝撃で、胸部動脈瘤破裂で死亡した。	231	17	100 ～ 299
2013	8	22 ～ 23	タクシーに乗務し、帰社する途中、赤信号で交差点に侵入してしまい、青信号を直進してきた車両に車両左側から衝突された。事故処理を済ませた後で、嘔吐とふらつきが見られたため救急車で病院に搬送されたところ、腹部大動脈破裂と肝破裂が認められ、失血により死亡した。	231	17	50 ～ 99
2012	12	12 ～ 13	タクシー運転手である被災者は、国道を走行中、道路沿いにある交通量感知機の支柱に衝突し、出血性ショックにより死亡した。	231	17	50 ～ 99
2012	7	1 ～ 2	県道脇にて歩道に乗り上げて止まっているタクシーの運転席で、上半身血まみれで死亡している被災者が発見された。	911	90	50 ～ 99
2012	10	2 ～ 3	低速で走行中、歩行者の男性2名にタクシーを蹴られたため、停車して注意をしたところ、いきなり運転席のドアを開けて殴りかかってきた。車内から引きずり出されて金網に押し付けられ、後頭部を何度も殴打された。	719	90	10 ～ 29
2012	6	22 ～ 23	会社所有車を運転して国道を西進中、センターラインを越えて来た対向車と正面衝突した。	231	17	50 ～ 99

2012	10	15 ～ 16	タクシー乗務中、タクシーを路上に駐車し道路を横断して道路の反対側にあるコンビニエンスストアに寄り、再度道路を横断してタクシーに戻ろうとした際、当該道路を走行してきたバイクに轢かれた。	231	17	～ 49	30
2012	3	16 ～ 17	タクシー乗務員である被災者が客を乗せ走行を開始したところ、客が準備していた小刀で首を刺され死亡した。	999	99	～ 299	100
2012	3	0 ～ 1	取材対象車両を高速道路で追尾中、対象車両がサービスエリアに入ったため、サービスエリアの出口の本線合流部分の路肩に停車していたところ、トラックに追突され運転手が死亡した。	221	17	～ 299	100
2012	6	12 ～ 13	タクシー運転手である被災者は、業務中に自宅に立ち寄り、車を自宅前に停車させ車外に出たところ、車が動き出した。直後、車を止めようと運転席に体を半分入れたところ、開いていたドアが電柱に接触し、閉まったドアと車両の間に体を挟まれた。	231	17	～ 99	50
2011	4	12 ～ 13	午前2時頃から乗客を乗せたまま勤務時間を過ぎても帰社せず、行方不明となっていた。その後、廃車置場にて、被災者が運転していたタクシーのトランクの中から被災者の遺体が発見された。遺体には、上半身に刃物によるとみられる複数の刺し傷があった。	999	90	～ 49	30
2011	7	0 ～ 1	タクシー運転手の被災者は、客を装った犯人を乗車させた。被災者は、20 km程離れた、犯行現場において、犯人に左脇腹などを数箇所を刺され、売上金1万円を奪われ、失血死した。	999	99	～ 99	50
2011	6	14 ～ 15	地上デジタル対応テレビ及びアンテナの設置工事のため、被災者及び設置業者が2階にある事務室の窓から車庫のスレート屋根に出て、さらに事務所の屋上に上がってアンテナの設置作業を行っていた。設置業者が事務所内にあるテレビの映り具合を確認していたとき、被災者が車庫のスレート屋根の一部である厚さ1.75 mmのプラスチック材（明かり窓）を踏み抜き、約5.5メートルの高さからコンクリート床に墜落した。	415	1	～ 49	30
		15	タクシー運転手が、ドライビングスクールの教習生の送迎準備として、スクールの玄関南東側に停車していた送迎車（15人乗り、軽油、MT）の				30

2011	1	16	～	エンジンを始動したところ、送迎車が前進にてスクール敷地外まで走行し、公道である歩車道間の街路樹に送迎車の運転席側ドアが衝突、当該ドアと送迎車右側Bピラーに胸部を挟まれ、翌日死亡したものの。	231	7	～	49	
2011	9	1	～	2	路上をタクシーでゆっくり走行していたところ、通りかかった男に呼び止められ声を掛けられ窓を開けたらボンネットを叩いたり蹴ったので窓を閉めたが、男がドアを開け、車から引きづり降ろされ殴られる等の暴行を受け被災したものの。	911	90	～	99
2011	1	4	～	5	タクシー乗務中、片側5車線道路を青信号で右折した際、直進してきた車と激突し、頭部を強打したものの。災害発生から約6か月後に、入院先の病院で呼吸不全により死亡した。	231	17	～	299
2011	8	0	～	1	午前0時35分頃、被災者は、乗客2名を乗せ、道路を南方面に向かって走行中、交差する電車を跨ぐ高架を上がろうとしたところ、道路左側の側道との分離帯に車体左前方が衝突し、右向きに横転、事故から約5時間40分後の午前6時15分に搬送先の病院で死亡したものの。	231	17	～	299
2011	1	23	～	0	18日午後11時50分ごろ、国道交差点で、タクシー運転手の被災者が国道と交わる県道を走行中、国道を走行していた乗用車と衝突。被災者は、頭や胸を強く打って死亡した。乗用車の助手席にいた女性がひざに軽傷を負った。	231	17	～	299
2011	9	3	～	4	高速の下り車線で被災者は前方の車に追突し、事故処理で他の事故を誘発させないために、非常用の三角表示板を車両後部のトランクから取り出そうと後部にまわったところ、後方から来る車両に追突され、車両の間に挟まれて死亡したものの。	231	7	～	299
2011	9	3	～	4	お客様迎車のためタクシーを走行中、本線左車線にて、後続のトラックに追突され、タクシーは弾みで中央分離帯まで飛ばされ、追越し車線で停車した。被災者は、事故発生を営業所に電話連絡したが、直後に追越し車線を走行していた自家用車に追突され、被災したものの。なお、被災者に追突したのち自家用車は逃走したものの。	221	17	～	300

2011	2	16 ~ 17	被災者は勤務が終了し、帰宅しようと事務所建屋2階から建屋付属の外部階段（最上段高さ2.3メートル、階段斜面延長3.4メートル、傾斜42度、11段、階段は乾燥状態）を使用し階段を降りていたところ、途中から階段内で転落し、地上コンクリート面に倒れているところを発見されたもの。被災者は、被災後病院に搬送され入院加療を行っていたが、4月13日に死亡したものの。	413	1	50 ~ 99
2010	12	5 ~ 6	被災者はタクシー乗務中、公園横の路上に仰向けの状態で倒れているのを他社のタクシー運転者が発見、救急車で病院に搬送したが3日後に死亡したものの。被災者が倒れていた場所は、タクシー前部の歩道と道路の境界付近で、道路側に向かってやや傾斜し、滑りやすい状況であった。公園のトイレを利用するため、タクシーから降車又は乗車時に凍結した路面に足を取られ転倒したとみられる。	719	2	100 ~ 299
2010	12	22 ~ 23	被災者の運転するタクシーが国道を走行中、対向してきた乗用車が後部の車から追突された勢いでセンターラインをはみ出し、タクシーと正面衝突したものの。	231	17	100 ~ 299
2010	9	4 ~ 5	被災者はタクシー乗務中に、県道の片側3車線道路の交差点において、赤信号のため一旦停止し、信号が青に変わったことから、発進させたところ、ハンドル操作を誤り、中央分離帯に乗り上げて信号機の支柱に激突したものの。	231	17	100 ~ 299
2010	8	18 ~ 19	被災者は、本社の運行管理者であるとともに、乗務員の観光ガイド養成指導者にも任じられ、気温35.6℃の炎天下の中を、市内観光コースを巡りながら、乗務員への1日研修として指導訓練に従事した。研修を終えて帰社した直後に激しい雷雨となり、配車用無線が不通になる緊急事態が発生したため、運行管理者として奔走中、脳内疾病を発症し1週間後に亡くなった。	921	90	100 ~ 299
2010	8	8 ~ 9	タクシー乗客を乗せ走行中、潜水橋（幅約2m）を渡る途中で、運転操作を誤り、橋の縁石を左前輪より乗り越え、横転しながら約2m（橋～水面）転落し、水深1mの川に裏返しの状態で運転席が水没したものの。	231	17	30 ~ 49

2010	6	5 ～ 6	タクシーの営業終了後、車庫に向かい市道を走行中にガードレールを突き破り、さらに街路灯に衝突し、頭を強く打ち死亡した。	231	17	100 ～ 299
2010	6	4 ～ 5	国道の交差点において、被災者が運転するタクシーと乗用車が衝突したものの。	231	17	30 ～ 49
2010	6	23 ～ 24	タクシーのガススタンドにおいて、トイレに行くため車両（AT車）から降りたところ車両が動きだし、停止させようと運転席に乗り込んだ際、誤ってアクセルペダルを踏んだため、車両が加速した反動で振り落とされ、コンクリート地面で頭部を打った。災害の翌日、死亡した。	231	1	100 ～ 299
2010	5	2 ～ 3	被災者の運転する車両の無線から異音が発せられたことに無線センターの運行担当者が気づき、被災者と連絡を取ろうとしたが取れないため、同僚を現場に向かわせたところ、運転席付近から煙が出ている被災者の車両を発見したが、車両内には被災者は見あたらず、無線センターから警察及び消防に通報。警察が周辺捜索により、被災者の車両のトランク内で、首に切り傷を負って死亡している被災者を発見したもの。売上金がなく、料金メーターの精算ボタン押されていたことから、被災者は料金を精算中に乗客から強盗目的により襲われ殺害されたと推測される。	911	90	100 ～ 299
2010	1	8 ～ 9	タクシーに乗客を乗せ目的地に向かって走行中、信号機のない交差点に差し掛かったとき、左側から相手車がスリップして止まりきれずに交差点内に入ってきたため、出会い頭に衝突した。タクシーは衝撃で対向車線にはみ出し、対向車線を走行してきた自動車と衝突した。	231	17	10 ～ 29
2009	1	12 ～ 13	被災者はタクシーを運転して駅周辺の待機場所から客が待つアーケード前へ向かっていた際、道路脇でタクシーを待っていた客の前を通過した後に車道を外れて駐車場に停車中の乗用車に衝突した。	921	90	10 ～ 29
2009	1	20 ～ 21	夕方出勤し、客待ち待機中、具合が悪くなり、同僚のタクシーで病院へ搬送したが、同日死亡が確認された。	921	90	10 ～ 29

2009	7	21 ～ 22	タクシー運転業務中、駅で乗客を乗せて目的地に向かう途中、その乗客が所持していた拳銃により、被災者が車内で撃たれ、銃弾が貫通したことから死亡した。	911	90	～ 49
2009	7	5 ～ 6	被災者は片側二車線道路の右側車線をタクシーで走行中、左側車線を走行していた車が急に車線変更をし、被災者の運転するタクシーに衝突した。その際、被災者は回避行動として右にハンドルを切り、そのままと反対側車線へ入るので左にハンドルを切り返したことで、タクシーの制御が困難になり歩道に乗り上げて電柱に激突した。	231	17	～ 99
2009	3	1 ～ 2	タクシーに乗務中、高速道路トンネル内において、左右の壁に衝突し身体をシフトレバーで損傷した。その後病院に搬送されたが死亡した。	231	17	～ 299
2009	2	21 ～ 22	タクシー乗務営業中に公衆便所にて休憩をするため、車を降りてドアに錠をかけている時に100ccのバイクにはねられた。	231	17	～ 499
2009	12	1 ～ 2	直進中のトラックと右折しようとした5人乗りのタクシーが出会い頭に衝突し、タクシーの運転手と助手席の乗客が死亡した。	221	17	～ 99
2009	11	23 ～ 24	路上において、停車していたタクシーの中で、客としてタクシーに乗車していた者に刃物で刺殺された。	999	99	～ 299
2009	7	2 ～ 3	乗客とのトラブルに巻き込まれた被災者から、同僚の運転士へ110番通報の要請連絡が入った。警察官が現場に到着し、被災者及び乗客が不在である車両を発見するとともに、車両から約300m離れた場所で倒れている被災者を発見し、救急車で病院に搬送したが約1時間後に死亡した。	921	90	～ 299
2009	3	12 ～ 13	タクシーを運転中、飲酒運転の自家用車がセンターラインをはみ出してきたため、正面衝突した。	231	17	～ 299

2009	10	19 ～ 20	被災者がタクシーを運転して、T字交差点の優先道路を直進していたところ、左から交差点内に進入してきた乗用車に衝突されてタクシーが対向車線にはみ出し、さらに対向車線を走行していた乗用車がタクシーに衝突した。タクシーの運転手は死亡し、他の車に乗っていた7人が負傷した。	231	17	～ 299	100
2008	4	2 ～ 3	タクシー乗務中の被災者が、客を乗せ20分ほど走行したところで停止を命じられたため路肩に停止したところ、客が準備していたナイフで被災者を刺殺した。	911	90	～ 99	50
2008	8	8 ～ 9	被災者は片側一車線の道路をタクシーを運転して道路をUターンをしようとしたところ、後から走行していた10tトラックに追突されて死亡した。	231	17	～ 299	100
2008	6	1 ～ 2	被災者が車を降りて乗客を呼びに行く途中、乗客宅の敷地内にある高さ4mの下り階段の上方から転落した。	413	1	～ 299	100
2008	5	4 ～ 5	被災者は、帰社するためにタクシーを運転して県道を走行中、下り坂の右カーブを直進し、道路左側の街路樹に正面から激突した。	231	17	～ 299	100
2008	4	21 ～ 22	片側二車線の県道上をタクシーに乗客を乗せて走行中、対向車線を越えて進入してきた普通乗用車と正面衝突してタクシーの運転者が死亡した。	231	17	～ 49	30
2008	1	7 ～ 8	事業場の配車係が事務所のある建屋の2階駐車場に止めてあった車を移動させていたところ、車に乗車したまま同駐車場の1階と同2階とを結ぶ通路に転落した。車を運転していた配車係は負傷しなかったが、車が転落した際に当該通路を歩行していた同僚が、転落してきた車に激突されて建物の壁との間で身体をはさまれて死亡した。	231	6	～ 99	50
2008	7	15 ～ 16	被災者は、タクシーを運転し回送中に県道のカーブで対向車と衝突した。	231	17	～ 299	100

2008	12	3 ～ 4	タクシー運転手が勤務時間中に車内で刺殺された。	921	90	～ 299
2008	12	23 ～ 24	被災者（タクシー運転手）が片側二車線の県道の走行車線に停車して乗客を降車させた後、転回するため発進したところ、追越車線を走行中の自家用車が被災者運転のタクシー右前ドア部分に衝突した。その衝撃でタクシーは横転して交差点内を滑走して停止した。その後、被災者は病院に搬送したが死亡した。	231	17	～ 299
2008	1	18 ～ 19	被災者は駅東口のロータリーでタクシーで客待ちをしていた。タクシーを降りてロータリーを歩いて渡っていたところを軽ワンボックスカーにはねられた。	231	17	～ 29
2008	12	23 ～ 24	タクシー運転手の被災者が車庫に帰る途中、交差点で信号が赤のため停止した。信号が青になり交差点内に進入したところ、赤信号を見落として直進してきた4t保冷車に激突された。	221	17	～ 49
2008	9	4 ～ 5	県道（片側二車線）の直線道路において、駐車禁止規制区域に駐車中のトレーラー後方右角に被災者運転のタクシー前方左角が追突して死亡した。	231	17	～ 49
2008	10	11 ～ 12	被災者が23人乗りのバスを事業場から運転して約2度の緩やかな傾斜がある駐車場に停車させ運転席を離れて乗客を待っていたところ、バスが動き出して向かいにあった小屋とバスの前面との間にはさまれた。	231	7	～ 49
2008	5	10 ～ 11	タクシーが県道を走行中、交差点付近の街路樹に衝突して運転手が死亡した。事故現場は、片側二車線の緩い右カーブで、タクシーは走行車線を進行していた。	231	17	～ 99
2008	3	3 ～ 4	被災者は、業務終了後に会社管理の駐車場から通勤用自家用車で出発しようとして後進しながら切り返したところ、駐車場の後方に流れる河川に車ごと転落して車の下敷きになり死亡した。	231	1	～ 29
		12	前日からの降雪で路面が凍結していた県道で被災者の運転する車両が進行			30

2008	2	～ 13	方向左側の縁石にぶつかり、反動で右車線に飛び出して住宅の塀に激突した。	231	17	～ 49
2008	3	7 ～ 8	自家用車で出勤してきた被災者が、事業場の駐車場に車両を駐めようとしてドアから半身を乗り出して後退させていたところ、車止めを乗り越えて市道を逸走し、さらに逸走を続けて駐車していた他の乗用車と衝突してはさまれた。	231	17	～ 29
2007	7	6 ～ 7	主要地方道の交差点で、被災者が運転するタクシーが道路左脇の信号支柱に激突した。	231	17	～ 49
2007	7	4 ～ 5	国道上を走行中、道路沿いの国道の道路標識の柱に衝突した。	231	17	～ 29
2007	8	12 ～ 13	被災者が乗客を乗せ市道を走行中、対向車線を走行してきた乗用車がセンターラインを超え、被災者運転のタクシーに正面衝突した。	231	17	～ 29
2007	12	6 ～ 7	国道下り線において、被災者が空車でタクシーを運転中、植樹帯と歩道を乗り越え、転覆した。	231	17	～ 99
2007	7	2 ～ 3	被災者は、店から客を乗せ出発したが、帰社予定時間に戻らず、連絡も取れなかったため、同僚がタクシーの行き先付近を捜した。付近の工業団地の東側の駐車場で被災者が遺体で発見された。	911	90	～ 99
2007	6	21 ～ 22	自動車道（片側2車線）を被災者運転のタクシー（乗客1名同乗）が北進中（第2車線、中央より）、南進中のワゴン車がセンターラインをオーバーして衝突してきた。	231	17	1～ 9
2007	9	12 ～ 13	被災者は自動車道をタクシーで走行中、右側壁に衝突し、その場で停止していたところ、同車線後続のトラックに追突された。	231	17	～ 299

2007	4	12 ～ 13	被災者は、交差点にて信号待ちで停車中のトラックに追突した。	231	17	～ 299	100
2007	3	4 ～ 5	被災者の運転するタクシーが南側より信号待ち停止後北進して信号機のある交差点（信号機セミスクランブル）に入った後、ほぼ中央で東より西進走行してきた相手車両（小型ジープ）がタクシーの側面（右側中央）に衝突した。	231	17	～ 299	100
2007	1	12 ～ 13	片側1車線の県道において、緩やかなカーブにさしかかった時、対向車線を走行してきた乗用車がスピードの出しすぎで中央線を超えて被災者が運転するタクシーの右前フェンダー及び運転席ドア部分に衝突した。	231	17	～ 99	50
2007	4	6 ～ 7	被災者は、タクシー（乗客なし）を運転し走行中であったが、対向車の2tトラックが突然センターラインをオーバーして被災者タクシーの側面（運転席斜め前）に衝突した。	221	17	～ 299	100
2007	9	1 ～ 2	被災者はタクシーの運転手で加害者（乗車客）を乗車させ、道路に出て走行していた。乗車中、加害者とトラブルとなり、車中で暴力を受け、病院に搬送されたが死亡した。	911	90	～ 99	50
2007	4	12 ～ 13	タクシーを運転してお客を運送中に、道路交差点で右側から進入してきた乗用車と衝突した。	231	17	～ 29	10
2007	3	7 ～ 8	駅西口で倒れているところを他社のタクシー乗務員に発見された。	911	90	～ 299	100
2007	1	11 ～ 12	タクシー運手乗務で走行中、車内に落としたボールペンを拾おうとして運転操作を誤り、電柱に衝突した。事業場に戻った後に突然倒れ意識を失い死亡した。	231	17	～ 299	100
2007	3	1 ～	被災者は、事業場へ戻るためタクシーを運転し、交差点を直進していたところ、一時停止を停止せずに進入してきた乗用車が、タクシーの右側面に	231	17	～	300

		2	衝突した。			
2007	7	10 ～ 11	タクシーが、営業所に戻る途中、国道沿いのオートガススタンドで給油しようとして中央分離帯の切れ目で右折したところ、前方から直進してきた乗用車が車体左側面に衝突し、タクシーを運転していた被災者が死亡した。	231	17	10 ～ 29
2006	12	2 ～ 3	被災者はタクシーの運転手で、乗客を降ろして発進直後に、後方から来た乗用車に側面から追突され、タクシーが横転した。	231	17	10 ～ 29
2006	12	4 ～ 5	被災者は、営業所の車庫待ちで勤務していたところ、夜勤終了時刻ころ、売上げが上がらないことから配車係に終業時刻後に流しで引続き勤務したい旨申し出て出庫した。その後自ら運転していた営業車のトランクから発見された。GPSには実車となり目的地方面に向かい発見場所に至った記録があった。	999	99	30 ～ 49
2006	11	15 ～ 16	国道トンネル入口付近において、4トントラックが渋滞で停車していた最後尾のタクシーに追突し、同タクシーが押し出されて前方に停車していたトレーラー、自家用乗用車、4トントラックの順に玉突き追突をして、タクシー運転手、2トントラック運転手の2名が死亡、自家用乗用車の運転手及び最後に追突された4トントラックの運転手の2名が軽傷を負った。	221	17	100 ～ 299
2006	11	2 ～ 3	被災者は、乗客を乗せて運転していたところ、反対方向の車線から別の車が逆走してきて正面衝突した。	231	17	100 ～ 299
2006	10	14 ～ 15	本社所属の被災者は災害発生当日、営業所に出向き車庫屋根上の樋の清掃を行うため、被災者が単独で屋根（高さ5.6m、スレート屋根）に上がり、清掃を終えて降りようとした時、スレート屋根を踏み抜き墜落した。	415	1	30 ～ 49
2006	10	11 ～ 12	タクシー運転手が客を送っていった帰りに、片側一車線の緩やかなカーブを抜けた直線でセンターラインをはみ出してきたトラックに正面衝突された。	221	17	10 ～ 29
		19	乗客4名を乗せ、交差点手前で前方走行中のトラックを追い越した際、交			300

2006	9	～	20	差点部に、ゼブラゾーンを囲ってある単管バリケード柵に衝突。その際に単管がフロントガラスを突き破り運転手に当たった。	231	17	～
2006	8	～	20	19 被災者の運転するタクシーが、客を乗せ走行中に、荷揚げ用の岸壁から海へ転落した。約2時間半後に車両が引き上げられたが、運転していた被災者及び乗客が死亡した。	231	18	10 ～ 29
2006	5	～	1	0 交差点付近の道路上で、中央分離帯のない片側2車線の道路の対向車線を超えて来たワゴン車が、被災者の運転するタクシーに正面衝突した。	231	17	50 ～ 99
2006	2	～	2	1 タクシー業務にて、乗客を乗せ運転中に交差点に進入したところ右側から飲酒運転の自動車が信号無視にて同交差点に進入してきて衝突された。	231	17	50 ～ 99
2006	3	～	23	22 お客さんを降ろした後、営業所に戻る途中の県道交差点において右折しようとしたが、左右方向には他の自動車が走行していたためグリーンベルトの所に停止していたときに、右側から走行してきた乗用車がタクシーの右側に衝突し、死亡した。	231	17	50 ～ 99
2006	3	～	6	5 被災者はタクシーに乗務し、県道を進行中、緩やかな左カーブで、対面車線を超えて歩道に設置の電柱に衝突し、被災した。	231	17	30 ～ 49
2006	2	～	23	22 災害発生場所の交差点（信号機双方有り）内において、客先に向かって走行していたタクシーと自家用乗用車が出会い頭に衝突し、タクシーの運転手が死亡した。	231	17	100 ～ 299
2005	12	～	21	20 客を装って乗車した第3者に絞殺された。	911	90	1 ～ 9
2005	5	～	3	2 市道で、客待ち待機中にタクシーを降り、信号のない交差点を横断していたところ、別のタクシーにはねられた。	231	17	50 ～ 99

2005	5	6 ～ 7	タクシー会社の駐車場で被災者が乗車する車両に向けて歩行中、走行中の車両とブロック塀との間に挟まれた。	231	7	100 ～ 299
2005	12	18 ～ 19	マイクロバスの後退を誘導するため、国道に出たところ、乗用車にはねられた。	231	17	50 ～ 99
2005	10	10 ～ 11	自転車で県道の歩道上を走行中、バランスを崩して車道へ転倒し、対向してきた軽自動車と衝突した。	231	17	50 ～ 99
2005	2	22 ～ 23	一方通行の道路をタクシーを運転して走行中、道路を逆走してきた自動車と正面衝突した。	231	17	100 ～ 299
2005	3	2 ～ 3	高速自動車道を乗用車で走行中、道路の出口から逆走して進入してきた普通乗用車と正面衝突した。	231	17	100 ～ 299
2005	1	11 ～ 12	事務所内で会話中、突然倒れた。	999	99	100 ～ 299
2005	10	9 ～ 10	タクシーの運転業務中、タクシーを降りて、公衆トイレに立ち寄るため、道路を横断中、オートバイにはねられた。	231	17	300 ～ 499
2005	5	2 ～ 3	国道を走行中、中央分離帯を乗り越え、対向のトレーラートラック及び大型トラックそれぞれに衝突した。	231	17	10 ～ 29
2005	12	12 ～ 13	県道における大型送迎バスの接触事故後、被災者が車外に出て被害状況を携帯電話で連絡していたところ、対向車線を走行してきたトラックにはねられた。	221	17	10 ～ 29

2005	7	4 ～ 5	タクシーを運転中、ハンドル操作を誤って道路のセンターラインをはみ出して対向車線脇のガードレール支柱に衝突した。	231	17	100 ～ 299
2005	4	3 ～ 4	乗客を降ろし、営業所に帰る途中、高速自動車道内において、後方車から追突されたため、追越車線に車両を残したまま走行車線脇で追突車両の運転手と相談していたところ、後続の大型車両（トラック）にはねられた。	231	17	100 ～ 299
2005	2	9 ～ 10	タクシーの待機場所にて配車の指示を待っていたところ、車内で意識を失った。	911	90	50 ～ 99
2005	9	1 ～ 2	タクシーを運転中、対向車がセンターラインをはみ出してきて、正面衝突した。	231	17	30 ～ 49
2005	12	23 ～ 24	右折しようとして丁字路に進入したところ、走行してきたトラックに側面衝突された。	231	17	10 ～ 29
2005	3	12 ～ 13	タクシー乗務中に倒れ、病院に搬送されたが、死亡が確認された。発症前4ヶ月間の平均時間外労働が長時間に及んでいた。	911	90	300 ～ 499
2005	1	6 ～ 7	タクシー運転業務中、交差点を右折しようとしたところ、対向車線を直進してくるダンプトラックに衝突しそうになったため、回避しようとしてハンドルをきったが、路面が凍結しておりタクシーがスピンしてダンプトラックの前方部分に衝突した。	231	17	300 ～ 499
2004	1	6 ～ 7	無線配車により乗客4名を乗車させた後、ファミリーレストラン駐車場から国道に出る際、直進してきたワゴン車が右側より衝突した。	231	17	30 ～ 49
		12	被災者（タクシー運転手）が客を乗せて運行中、交差点内で右折のため停車中の被災者のタクシーと、後続で停車中のワゴン車に、後ろから大型ト			10

2004	7	～ 13	トラックが追突する玉突き事故が発生した。被災者は、タクシーを対向車線側に移動し停車させた後、道路を横断、降車していた客と話をした後タクシーに戻ろうと横断歩道近くの路上を横断中、対向車線を走行してきた別のタクシーにはねられた。	231	17	～ 29
2004	1	18 ～ 19	見通しの良い交差点近くを走行中、信号待ちで停車中の車に追突した後、さらに前方に駐車中の車に追突した。	231	17	～ 299
2004	4	10 ～ 11	国道を走行中のタクシーが右折しようとしたとき、タクシーの側面に、後続の2tトラックが衝突し、タクシーの運転手が被災した。	221	17	1～ 9
2004	8	15 ～ 16	県道トンネル内で、自動車を運転中、側壁に衝突し、被災者は車外に放り出され、後続の車両にひかれた。	231	17	～ 299
2004	7	7 ～ 8	タクシーで走行中、対抗車両がセンターラインをオーバーし被災者運転車両の前方を走行中の車両に接触後、被災者が運転するタクシー車両に正面衝突した。	231	17	～ 299
2004	8	4 ～ 5	高速自動車道で、路側帯にタクシーを止め、パンクを修理中、後方から来たトラックにはねられた。	221	17	50 ～ 99
2004	2	12 ～ 13	県道上で、被災者が運転するタクシーに対向してきた乗用車が、高さ25cmの中央分離帯を乗り越えて来て衝突した。	231	17	10 ～ 29
2004	3	19 ～ 20	客1人をタクシーに乗せ、市道上で停車して降ろそうとしたとき、同客が売上金を奪う目的で、被災者を包丁で刺した。	911	90	～ 99
2004	8	10 ～	タクシーで走行中、途中のトンネル内の左カーブにおいて、左側歩道の縁石に衝突し、対向車線にはみ出し、対向走行のバスと正面衝突した。	231	17	～ 100

		11				299
2004	11	2 ～ 3	タクシーを運転し、交差点を直進していたところ、同じ交差点を右方から信号無視の車両が直進してきて、タクシーの右側面に衝突した。	231	17	300 ～
2004	5	8 ～ 9	追い越し車線を走行中、中央分離帯を越えて、対向車線の相手車両（3tトラック）が進入、先行車両に衝突した後、被災者運転のタクシーに衝突した。	221	17	300 ～ 499
2004	7	21 ～ 22	国道沿いのLPGスタンドで燃料充填後、右折で国道に出て下り（反対）車線に入ろうとしたところ、中央分離帯（ゼブラゾーン）付近で、上り車線を進行してきた乗用車が被災者運転のタクシーに衝突した。	231	17	100 ～ 299
2004	1	3 ～ 4	業務が終了して本社に帰り、駐車場に社用車を止めて鍵を返却し、自車の鍵を持ち、自車のエンジンをかけておこうと道路を横断しようとしたところ、右から走ってきた乗用車にはねられた。	231	17	50 ～ 99
2004	4	6 ～ 7	市道交差点において、飲酒運転で事故を起こし逃走中の軽自動車が信号無視で交差点に進入し、タクシーに衝突し、タクシーの運転手が被災した。	231	17	30 ～ 49
2004	12	3 ～ 4	タクシーを下車し、国道の側道を歩いていた運転手が、乗用車にはねられた。	231	17	50 ～ 99
2004	5	22 ～ 23	農道においてタクシー内で運転手が刃物で刺された。	999	8	100 ～ 299
2004	4	4 ～ 5	タクシーを運転して交差点を走行していたところ、右側から一方通行を逆走して交差点に進入してきた乗用車と衝突した。	231	17	300 ～
2003	12	4 ～	強盗を目的とした犯人がタクシーに乗車し、途中で鋭利な刃物で胸など数カ所を刺された。	999	99	100 ～

		5				299
2003	12	12 ～ 13	自動車交通事故の処理のため、事故現場の道路上で交通整理中に走行中のトラックにひかれた。	221	17	50 ～ 99
2003	11	5 ～ 6	タクシーで走行中、交差点中央付近で右折中のワンボックスカーの左側に追突した。	231	17	10 ～ 29
2003	11	13 ～ 14	タクシーで走行中、ゆるやかな右カーブで運転を誤って中央分離帯のガードレールに激突した。	231	17	30 ～ 49
2003	10	9 ～ 10	タクシーで県道から国道に進入したときに、国道を走行してきたトラックがタクシー運転席側に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2003	10	1 ～ 2	タクシーが空車で走行中、交差点で信号待ちしていたところへ後方からきた自家用車に追突された。	231	17	50 ～ 99
2003	8	15 ～ 16	仕事の合間に銭湯で入浴中に、腫瘤が破裂して倒れ病院に移送されたが9日後にくも膜下出血で死亡した。	911	90	10 ～ 29
2003	8	21 ～ 22	タクシーで客を降ろして国道を走行中、左カーブを曲がりきれずに対向車線にはみ出しワゴン車と衝突した。	231	17	10 ～ 29
2003	8	16 ～ 17	乗客を降ろしてもどる途中の路上でタクシーを止めてタクシー後方の路肩にいたときに、後方から走行してきた3台の車両のうち軽乗用車がハンドル操作を誤ってタクシー後部に追突したため、その軽乗車の下敷きになった。	231	17	50 ～ 99
		23	タクシーに乗客を乗せて国道を走行中、交差点を右折しようとしていたと			30

2003	7	～ 24	きに乗用車に追突された。	231	17	～ 49
2003	7	17 ～ 18	タクシーを運転して橋付近の信号で停車していたときに、後部座席に乗せていた乗客（男性）に文化包丁で刺された。	364	90	30 ～ 49
2003	6	1 ～ 2	タクシーに乗客を乗せ首都高道路を走行中、後方から来た大型トラックに追突されてタクシーが大破し、乗客は死亡、運転手は意識不明となったのち死亡した。	221	17	50 ～ 99
2003	6	3 ～ 4	タクシーで乗客を降ろして事業場にもどるため走行中、右カーブの道路を曲がりきれずに道路左側に飛び出し、約4m下の河川敷に転落した。	231	17	30 ～ 49
2003	5	23 ～ 24	仕事を終えてタクシーをバックで止めようとしたところ、左後輪が車止ブロックの間をすり抜け、右後輪は勢いがついていたので乗り越えて外周の墜落防止用のチェーンを突き破り、タクシーごと7m下の道路に墜落した。	231	1	300 ～ 499
2003	5	5 ～ 6	タクシーを運転中、くも膜下出血により意識を失い交差点中央分離帯に衝突した。	231	17	100 ～ 299
2003	5	6 ～ 7	タクシーで走行中、交差点で進入してきた4tトラックと出会い頭に衝突し、衝撃でタクシーがガードレールに激突し運転手が死亡した。	221	17	100 ～ 299
2003	3	5 ～ 6	会社の配車係から国道沿いの場所で客を乗せるよう指示を受けたので、指定された場所に行き、車を止めて客を探していたところ、それらしき客を反対車線側に見つけたので確認しようと車を降りて国道を横断中、走行してきたワゴン車にはねられた。	231	17	100 ～ 299
2003	2	12 ～ 13	タクシーで乗客を自宅まで送って県道を走行中、道路左側の歩道の縁石に接触したのち約50m先にある道路左側の電柱に激突した。	231	17	50 ～ 99

2003	2	0 ～ 1	タクシーに乗客を乗せて走行中、信号機のない交差点に進入したときに右側より来た乗用車と衝突した。	231	17	1～ 9
2003	1	1 ～ 2	お客さんを迎えに行くためタクシーで県道を走行中、車をUターンさせようとしたときに対向車線の乗用車と衝突した。	231	17	30 ～ 49
2002	8	19 ～ 20	乗客を乗せてタクシーを運転中、脳動脈瘤が破裂してクモ膜下出血を発症し、身体が助手席側に倒れてハンドルが左側に切られたため道路脇の電柱に激突した。	231	17	50 ～ 99
2002	8	1 ～ 2	タクシー運転中に意識不明となっていたところを他社の乗務員に発見された。	911	90	100 ～ 299
2002	3	22 ～ 23	タクシー運転手がパンクしていたタイヤをスペアタイヤと交換した直後に、急性心筋梗塞で倒れた。	911	90	100 ～ 299
2002	6	2 ～ 3	タクシーに乗客を乗せ走行中、対向車が雪でバウンドして進入してきたため正面衝突した。	231	17	100 ～ 299
2002	9	2 ～ 3	タクシーで走行中、高速道路の出口を出て一般道に入ったときモノレールの橋脚に激突した。	231	17	300 ～ 499
2002	7	1 ～ 2	タクシーを運転して国道を走行中、スリップして道路脇の水銀灯に衝突した。	231	17	50 ～ 99
2002	9	11 ～ 12	空車のタクシーで走行中、交差点で信号待ちで停車していた2tトラックに追突した。	231	17	300 ～

2002	6	1 ～ 2	タクシーを運転して走行中、交差点で右側から来た信号無視の乗用車に衝突されて50m位飛ばされ民家の塀に衝突した。	231	17	100 ～ 299
2002	11	5 ～ 6	路上に停車中のタクシーの後方で運転手が血を流して倒れており、胸や背中など十数箇所を刺されていた。	921	90	100 ～ 299
2002	3	1 ～ 2	タクシー乗務中に、乗客にナイフで刺されたので車外に逃げ出したが、さらに首・背中を刺されて死亡した。	911	90	100 ～ 299
2002	10	9 ～ 10	タクシーで乗客を降ろして走行中、信号機のある県道の交差点で右側から走行してきた乗用車と衝突し、さらに対向車線にはみだして信号待ちしていた乗用車に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2002	11	14 ～ 15	客を迎えに行くため国道をタクシーで走行中、対向車線側の道路下約8mに車ごと転落した。	231	17	1～ 9
2002	11	16 ～ 17	タクシー乗務が終わって帰社し洗車のため事務所の隣の洗車機のところへ車を移動したのち、エンジンを掛けたままトランクに付いているアンテナを取り外そうとしていたときに、サイドブレーキが十分に掛かっていなかったため車がバックし車体後方の下部と地面との間に挟まれた。	231	7	50 ～ 99
2002	7	20 ～ 21	高速道路を走行中のトラックが白煙を出しながら路側帯に停車したため、減速した後続の定期運行バス、ワゴン型タクシーなど車両8台が次々と追突し、ワゴン型タクシーの乗客3名が死亡した。	231	17	30 ～ 49
2002	7	16 ～ 17	空港停車場に向かうためタクシーを運転して県道を走行中、中央車線をはみ出して対向のタンクローリー車に衝突した。	231	17	10 ～ 29
2002	6	12 ～	タクシーに客3名を乗せて走行中、市道上でセンターラインを越えてきた車両に正面衝突された。	231	17	100 ～

		13							299
2002	12	1 ～ 2	タクシーに3人の客を乗せ、途中で一人降ろして残る2人を送るため走行中、右側面を後続の乗用車に猛スピードで衝突された。	231	17				100 ～ 299
2002	7	21 ～ 22	県道をタクシーを運転して走行中、対向乗用車と正面衝突した。	231	17				1～ 9
2002	1	1 ～ 2	タクシーで交差点を青信号で通過しようとしたときに、赤信号側の乗用車が交差点に進入してきて衝突し運転手が死亡した。	231	17				100 ～ 299
2002	7	9 ～ 10	タクシー回送中、センターラインをオーバーしてきた対向車と正面衝突し、さらに、後方から進行してきた車両に追突された。	231	17				100 ～ 299
2002	12	2 ～ 3	タクシーに乗客を乗せ国道を走行中、反対車線を走行していた乗用車が中央車線を越えてきて正面衝突し、タクシー運転手と乗客が死亡した。	231	17				50 ～ 99
2002	5	23 ～ 24	空車のタクシーで国道を走行中、センターラインをオーバーした酒酔い運転の乗用車と正面衝突した。	231	17				100 ～ 299
2002	3	22 ～ 23	タクシーで市道を走行していたところ、センターラインをオーバーしてきた乗用車に正面衝突された。	231	17				10 ～ 29
2002	5	12 ～ 13	タクシーに乗客2名を乗せて走行中、赤点滅信号の交差点に一時停止をせずに徐行で進入したところ、西から交差点に進入した自動車と衝突し運転手が死亡した。(乗客1名も死亡)	231	17				100 ～ 299
2002	6	22 ～	客を乗せて国道を走行中、後続車に後方から追突され客(出張中)の1名が死亡、1名が軽傷、ハイヤーの運転手が死亡した。	231	17				10 ～

		23				29
2002	1	3 ～ 4	片側1車線の道路をタクシーで走行中、カーブを曲がりきれずに中央線をはみ出してきた対向車に正面衝突された。	231	17	50 ～ 99
2002	11	1 ～ 2	走行中のタクシーが、橋上の凍結部分でスリップして歩道に乗り上げ、橋の欄干を突き破って約10m下の川（水深75cm）に落下してタクシー運転手は溺死して乗客1名が外傷性ショックで死亡した。	231	17	300 ～ 499
2001	11	3 ～ 4	事業用の普通乗用車に乗って国道を走行中、中央分離帯の縁石に乗り上げ、橋脚に激突した。	231	17	100 ～ 299
2001	8	10 ～ 11	タクシーでお客を降して国道を走行中、道路が1車線から2車線になったため左車線に変更したところ、路上に停車していたトレーラーに気づかずトレーラーの後部に衝突した。	231	17	30 ～ 49
2001	6	14 ～ 15	営業所内の階段をモップを用いて清掃していたときに、モップが階段に引っかかった反動で階段の上段から転落した。	413	1	50 ～ 99
2001	10	23 ～ 24	タクシーが空車で走行中、対向の車が路肩に駐車中の車を避けようとしてセンターラインをはみ出してきて正面衝突した。	231	17	100 ～ 299
2001	9	3 ～ 4	タクシー(空車)を運転していて交差点で信号待ちをしたのち青信号で発進したところ、右方向より赤信号を無視して交差点内に進入してきた普通貨物自動車と出会い頭に衝突した。	221	17	100 ～ 299
2001	11	23 ～ 24	タクシーで客を運んで帰る途中、二又に分かれている道路を右折しようとしたが信号が赤だったのでブレーキをかけたところ、雨でスリップし前方から来た4tトラックと正面衝突した。	231	17	50 ～ 99
2001	11	6 ～	空車のタクシーで走行中、緩い下りの右カーブで道路脇の電柱に激突した。	231	17	100 ～

		7						299
2001	10	3 ～ 4	タクシーを運転して国道を走行中、前方を走行していた乗用車が急にスピ ンして停車したため正面衝突しタクシーが炎上し焼死した。	231	17	～	100 ～ 299	
2001	7	1 ～ 2	タクシーで乗客を送ったのち、点滅信号がある交差点を右折して国道に出 ようとしたとき右から直進してきた大型トラックと衝突した。	221	17	～	10 ～ 29	
2001	7	12 ～ 13	タクシーで乗客を降車させ市内に回送中に、対向の運転代行ドライバーが 運転する代行客の乗用車がセンターラインをはみ出してきて正面衝突し た。	231	17	～	50 ～ 99	
2001	5	1 ～ 2	タクシーで客を配送し県道を走行中、後から走行してきた飲酒、並びに居 眠り運転の車両に追突され、そのはずみで押し出されて道路左側の外壁に 激突した。	231	17	～	50 ～ 99	
2001	4	12 ～ 13	タクシーの業務中、路上で乗客待ちの同僚のと乗客についての情報交換を していたとき、後方より酒酔い運転で蛇行しながら走行してきた乗用車に ひき逃げされた。	231	17	～	100 ～ 299	
2001	4	2 ～ 3	タクシーが空車で走行中、交差点の赤信号で停止中のパトロールカーの右 側を追い越してガイドレールに接触したのち蛇行しながら赤信号の交差点 を突つきり角のスーパーマーケットに衝突した。	231	17	～	300 ～	
2001	4	3 ～ 4	タクシーに乗務して国道を走行中、信号待ちで停車中のトラックに追突し た。	231	17	～	100 ～ 299	
2001	3	3 ～ 4	早朝に、国道でタクシーがUターンするためセンターラインで停止してい たところに、後方より来た4tトラックに衝突された。	231	17	～	100 ～ 299	
2000	12	10 ～	マンションの駐車場において、タクシー運転手が強盗目的で客として乗っ ていた男に背後から左首を刺された。	921	90	～	100 ～	

		11				299
2000	1	23 ～ 24	タクシーに代行運転員1名を乗せ客先へ向かう途中、T字路で右折するため道路の中ほどまで出て停止していたときに通りかかった歩行者がタクシー左後部を蹴ったのでタクシー運転者が注意したところいきなり殴られた。	911	90	～ 99
2000	7	12 ～ 13	トレーラー(最大積載荷重4.2t)に厚さ2～3cmの鉄板を荷台前方に10枚・後方に8枚積載して走行中、荷崩れを起こして右方に約2mはみ出し、はみ出した荷が対向の軽乗用車に激突し運転手死亡、その後トレーラーが約3.6km走行後にはみ出した荷が対向のタクシー(乗客を降ろし回送中)に激突して運転手が死亡した。	379	17	～ 49
2000	2	2 ～ 3	乗用車で国道を走行中、センターラインを越えてきた普通乗用車と衝突した。	231	17	～ 299
2000	6	3 ～ 4	路肩にタクシーを止め降車しようとして体を外に乗り出したときに、後方からきた乗用車がタクシーの側面に追突した。	231	17	～ 299
2000	4	5 ～ 6	タクシーで一方通行道路を走行中、一方通行道路を逆送してきた車に交差点中央で激突され、その衝撃で約27m離れたビルに衝突した。	231	17	～ 299
2000	3	2 ～ 3	車で走行中、対向車と正面衝突した。	231	17	～ 499
2000	1	12 ～ 13	交差点で、客待ちのタクシー先頭車を確認するため、タクシーから降りて確認し車に戻ろうとしたときに、交差点を右折してきた車にはねられた。	231	17	～ 99
2000	2	21 ～ 22	小型タクシーで走行中、歩道上の電柱に激突した。	231	17	300 ～

2000	3	5 ～ 6	車で走行中、交差点で右折してきた車両と出会い頭に衝突した。	231	17	～ 499
2000	5	1 ～ 2	迎車のためタクシーを運転し、路側帯に一時停車したのちUターンするた めハザードランプ(非常表示点滅灯)を点灯させたまま道路中央付近まで前 進したときに、後方から走行してきた大型トラックに衝突された。	221	17	～ 49
2000	4	4 ～ 5	高速手前の路肩に不自然な形で停車させていたタクシーを不審に思った他 社のタクシー乗務員が声を掛けたところ、訳の解らない言葉を発して突然 車を急発進させ、猛スピードで左右の側壁に接触しながら高速入路に進入 し料金所ブースに衝突した。	231	17	～ 300
2000	3	12 ～ 13	タクシーに乗務し走行中、対向の乗用車がトラックを追い越すためセン ターラインをオーバーしてきたため正面衝突した。	231	17	～ 499
2000	11	17 ～ 18	被災者は、タクシーに客2名を乗せて県道を走行中、交差点で左側から走行 してきた大型ダンプの右後部車輪に激突した。	221	17	～ 99
2000	7	1 ～ 2	同僚のタクシー物損事故の処理応援に来て、道路上に停車してあったタク シーの脇に立っていたところへ、脇見運転の乗用車が追突してきてはねら れた。	231	17	～ 49
2000	1	2 ～ 3	業務報告を行うため駐車場から道路向かいにある会社事務所に向って市道 を横断中、乗用車にはねられた。	231	17	～ 49
2000	12	23 ～ 24	タクシーに乗客2名を乗せて国道を走行中、対向車線をはみ出してきた乗用 車と正面衝突し、さらにその後の乗用車と衝突した。	231	17	～ 299
2000	10	3 ～	タクシーの運行業務中、客に左胸をナイフで刺された。(運転席の売上金 バックが無くなっていた。)	911	90	～ 300

		4				
2000	1	7 ～ 8	駅前から中学校まで中学生2名をタクシーで送る途中、対向車線からはみ出してきた小型バス(個人所有)と正面衝突し、タクシー運転手が死亡し。(中学生2名のうち1名死亡、1名軽傷)	231	17	30 ～ 49
1999	11	1 ～ 2	ハイヤーで乗客を、目的地に運んだのち、食事のため車を止めて、反対車線側にある飲食店に向かって道路を横断中に貨物自動車に跳ねられ、さらに別の普通乗用車に跳ねられた。	221	17	50 ～ 99
1999	4	12 ～ 13	タクシーを運転していて交差点を通過しているときに、信号を無視して交差点に進入してきた車に衝突された。	231	17	50 ～ 99
1999	12	2 ～ 3	タクシー(乗客なし)で走行中、対向の普通乗用車が突然タクシーの走行車線に進入してきたために避けきれずに正面衝突した。	231	17	100 ～ 299
1999	3	7 ～ 8	タクシーが空車で市道を走行中、対向車線で前方の車両を追越そうとした車がセンターラインを越えタクシーに正面衝突した。	231	17	50 ～ 99
1999	11	3 ～ 4	駅入口交差点で信号待ちをしていたタクシー、貨物自動車など5台の列に、後ろから走行してきた大型貨物自動車(10t)が追突し、最後尾のタクシー1台を約50メートル引きずりながらビルに激突したためタクシーが炎上し運転者が焼死した。	221	17	300 ～
1999	10	1 ～ 2	乗客を乗せて国道を走行中、対向のトレーラーと正面衝突した。	221	17	30 ～ 49
1999	2	22 ～ 23	タクシー運転業務中、乗客に刃物で右頸部を刺された。	999	99	30 ～ 49
		6	社用車で業務命令によりゴルフコンペに向かう途中、国道で対向車線を走			50

1999	8	7	行していた乗用車がガードレールに接触した反動で中央線をはみ出し前方のバンに衝突し、その後、社用車にも衝突され頭等を強打した。(1231事故関連)	231	17	～ 99
1999	7	4 5	タクシー乗務中、交差点内でトラックと衝突した。	221	17	～ 299
1999	7	23 24	タクシーで走行中、左胸をナイフで刺され死亡した。(なお、運転席の現金カバンが無くなっていた。)	911	90	～ 299
1999	6	1 2	空車となったタクシーで走行中、対向車線で駐車中のトラックに乗用車が接触し、その反動でセンターラインを超え前方を走行していた軽自動車に接触した後タクシーと正面衝突した。	231	17	～ 49
1999	7	23 24	タクシーに乗客を乗せ市街地方面へ向かう途中、信号機のある変形四叉路交差点で対向車と正面衝突した。	231	17	～ 99
1999	7	2 3	タクシーが乗客1名を乗せ国道を走行中、対向の10t大型トラックが中央線を越えてきて正面衝突し、大型トラックはタクシーの前部に乗り上げたまま約30メートル暴走し、後続のタクシーにも激突した。	231	17	～ 49
1999	2	12 13	タクシーで走行中、酒気帯び及び無免許で走行してきた交差点内車が衝突した。	231	17	～ 299
1999	2	4 5	埠頭岸壁から転落しているタクシーを発見したが車内には誰も乗っていなかったため、周辺を船で捜索したところ同地点より約400メートル西の海上で遺体を発見した。	418	10	～ 499
1999	4	1 2	タクシーでその日最後の客を降ろして国道を走行中、ガードレールに激突した。	231	17	～ 49

1999	5	3 ～ 4	タクシーが乗客1名を乗せて信号待ちで停車中、後方から直進してきた乗用車に追突されて前方へ約45m引きずられ、後部座席の乗客も死亡した。	231	17	100 ～ 299
1999	3	22 ～ 23	乗用車で走行中、中央線を越えてタクシーと正面衝突し、さらに別のタクシーが追突した。	231	17	100 ～ 299
1999	3	1 ～ 2	配送センターへ釣り銭を届けるため軽乗用車で国道を走行中、信号無視でパトカーから逃げていたワゴン車が交差点で飛び出してきて運転席側に衝突した。	231	17	300 ～ 499
1999	2	3 ～ 4	タクシーで走行中、対向車線からはみ出してきた普通乗用車と正面衝突した。	231	17	50 ～ 99
1999	1	9 ～ 10	タクシーで走行中、国道交差点を、右折しようとしたときに西進してきた乗用車と正面衝突した。	231	17	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.htmlに戻る。